

風のたより

¥150-

那須高原ラリー 結果

- 1位 三谷義和/安江照明 (レビン) 391点
- 2位 玉川正剛/川又孝雄 (サニーEX) 415点
- 3位 竹下俊治/鯨井由男 (ランサー) 425点
- 4位 多田道夫/本田英夫 (セリカ) 435点
- 5位 長谷川敬一/山寺信也 (サニー) 440点
- 6位 滝 正美/小林弘明 (レビン) 441点

那須高原ラリー

11月17~18日 主催:RTNS

三谷義和レビン初優勝!!

ラリーチーム那須スポーツ主催の那須高原ラリーは、東関東ラリー選手権シリーズ最終戦として、11月17~18日に栃木・福島の二県にまたがる300キロのコースで開かれた。競技車は千本松農場から塩原パークサーキットまでの間にMCPをすませた後、第1SSをトライした。ここでの最速タイムはチームサヤマの平野シビックがマークし、競技が開始された。日塩道路に1CPがあり、ここからのアベレージは55キロ。最初のハイアベ区間である。

ここでちょっとしたミステリー事件が発生した、オフィシャルの時計が丸1分オクレなので、各車いきなり1分以上のオクレのスタートとなり、2CPにはベタオクレのチェックインとなった。コースはこの後121号を福島田島までトランスポート。中山峠、唐沢峠と消化し、今回のラリーのメインステージである全長40kmの田代山スーパー林道にいどむ。

この当りから路肩に雪があらわれエントラントは一瞬緊張したが、ふりだした雨の為事無きを得た。しかし、今度は霧のため一部区間ではアベレージがダウンされたため、各チームとも補正になやまされながら1ステージを終了した。栗山村で給油およびレスコンを取った後、第2ステージが開始された。コースは第1ステージの逆走で田代山から安ヶ森、湯西川の各林道を通り、再び雨と霧の日塩道路を53キロのハイアベで駆け上って甘湯温泉へゴールした。

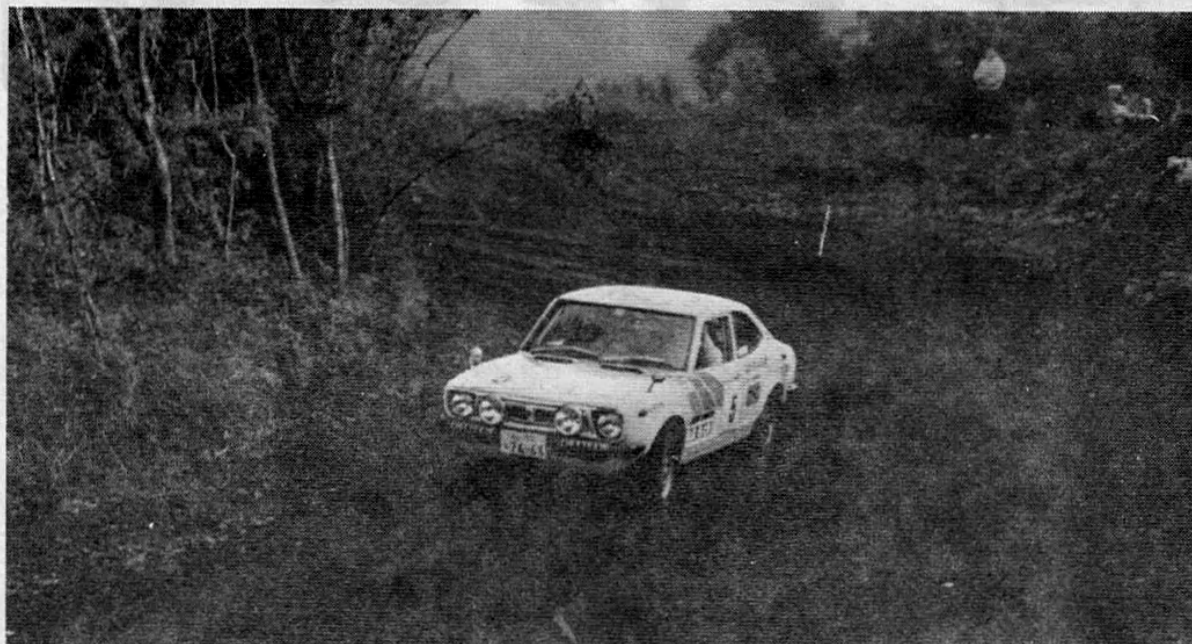
最終的に三谷/安江組が初の総合優勝を果たし、長谷川/山寺組がシリーズ3回目のクラス1位をものにした。

今回のラリーは競技実区間だけでも、フル300キロ有り。ダート率も約9割と近頃めずらしい設定だったため、ゴール後エントラントは温泉につかりながら自己満足にたっぷりとっかっていた。

最終SSで堀トレノが逆転優勝

RBACグリーン・ラリー

11月3日 主催：レインボー・オートクラブ



逆転優勝を果たした堀／北野組 トレノ

近県の中級ラリーストに人気の高いRBACグリーン・ラリーが千葉県ラリー選手権シリーズ第6戦(RCGL朝一番ラリーが中止になっているため実質的には第5戦)として、11月3日に開催された。

千葉県ではナイト・ラリーの許可がおりないため、RBACでは昨年からのグリーン・ラリーを準国内格式のSS+デー・ラリーとして行っており、今年もそのスタイルが踏襲された。

SSは4カ所、CPはすべて秒計測で、計算の厳しさを求めると共にSS/ラリー区間の減点をいずれも1秒1点とし、ドライバーとナビゲーターのいずれもが楽しめる設定となっている。

参加者はダート・トライアラーの大田原甲太(前年の優勝者)、鶴一郎、高森正夫らに対し、ラリーストの根本純、長谷川敬一、堀貴博(前年2位)、木村政行など関東の中堅どころがズラリと顔をそろえた。珍らしいと

ころでは鶴島国治がシビックをもち込んでいるのも注目される。

11月3日早朝、スタート地点のオートランド千葉に集結した競技車は、6時31分からSS1を開始した。ここでは高森セリカが79秒のベストタイムをマーク。つづいて堀レビンが83秒、鶴サニーが85秒のタイムを記録している。根本純は実質2位の81秒をマークしたが、パイロン未通過によりペナルティ10秒を加算された。

SS2は八街のスポーツランド川上。ここでも高森のセリカは91秒とダントツのタイムをマークし、2番手の鶴に4秒の差を開いた。SS1とSS2のトータルでは、高森170秒、鶴180秒と早くも10秒の差がついている。

SS2終了後、競技車はタイヤ交換などのサービスを受けてラリー・セクションを開始した。ところが以外なことに1CP、2CPでは多くの車が減点をくひ、2位につけてい

た鶴などは206秒という大量減点を重ねて大きく後退することになった。一方、首位の高森は13秒におさめ、堀も6秒、長谷川スターレットなどは3秒と手固くまとめ、次への希望をつないだ。結局、第3SS前の4CPまでの区間を高森194秒、堀が198秒であり、この2車がトップを争うことになった。

SS3は鹿野山の砂利採取場跡。林道風のこのコースでも高森が断然速く、71秒のベストタイムをマークした。

このあと競技車はガスチャージをすませ、久留里方面の後半ステージに向かうが、途中の舗装路上に5CPがあり、予期せぬCPの出現に先行で捕まったチームも多かった。ここまで比較的少ない減点で上位に浮上していた荒木もここで大量700点もの減点をくい、一挙に入賞圏外から脱落してしまった。

6CPからは浮砂利ダートのハイアベ区間約5kmのコースを55km/hという指示だったが、根本純はこの区間を減点0、大田原兄弟のサニーに早着6秒で走りきった。しかし、その他は全般に10~20秒の遅れをとっている。

コースは月崎から大多喜に向かい、9CPからは再び50km/hのハイアベ(約2.3km)となる。ここでのトップは大田原サニーの9秒遅れ、平塚12秒、木村14秒とつづくが、他はいずれも20~40秒の遅れとなった。

ラリー区間の最終セクション、11CPも50km/hのハイアベだったが、比較的フラットなコースであったため、各車無難にこなし、最終SSの待つ鋸山へと向かう。

ここまでの成績にラリー区間を最少減点でまとめた牧野トレノが337点でトップに浮上。前半トップを争った高森と堀がともに339点の同減点で2番手につけている。また小排気量車で健闘する長谷川(375秒)、大田原(383秒)らがそのあとにつづき、最終のSS4で勝負をかけることになった。

鋸山有料道路は全長約2kmの舗装のヒルクライムで、ラリーの最後のハイライトとなる。各車ともタイヤを舗装用に交換し、多くのギャラリーが見守る中を頂上のゴールめざして駆けのぼった。

ここでの最速タイムは堀の101秒。永山、篠崎が104秒、高森、海宝が105秒とつづいた。一方、首位に立っていた牧野は118秒にとどまり、堀、高森に逆転を許すことになってしまった。

今回のRBACグリーン・ラリーはSS1ラリー区間ともに楽しみ、トラブルやミスなどもなくスムーズに運営され、豪華な賞品とともに参加者にはひじょうに好評だった。また、ラリーストばかりでなく、ダート・トライアラーも参加させたいという主催者のもくろみも、ある程度成功したといえるだろう。

(結果はシリーズ成績表を参照)



総合8位1クラス優勝の長谷川/秋本 スターレット

石原／秋本組が最終戦に勝利

DAMEオクトーバー・ラリー

11月18日 主催：ラリー愛好グループ・デーム



泥水をハネながら疾走する競技車

CRCFラリー選手権シリーズの最終戦、DAMEオクトーバーラリー'79は、11月18日、44台の参加者を集めて開催された。規定台数の60台に満たなかったのは、同日に大学ラリーなどが開催されていたためだが、選手権のポイント上位者はほとんどが顔をそろえた。

スタート当日の朝は激しい風雨に見舞われ、競技は波乱含みの幕明けとなった。

また、夜の明けきらぬ午前6時01分、1号車の石原／秋本組トレノが千葉市内幕張の京葉ドライブインをスタートして、ラリーが開始された。

あいにくの悪天候にたたられ、コースは水たまりの連続で、競技車は泥水をはねあげながら走行をつづけた。

競技前半は比較的舗装路が多かったが、後半はダートのハイアベ区間も設けられ、腕自慢のドライバーを楽しませた。主催者はコー

ス周辺の住民とのトラブルを避けるため、事前に住民に対する根回しを十分に行い、ハイアベ区間についてはオフィシャルを総動員して交通整理にあたったため、一般車とのトラブルも事故もなく、オイルパンを破損してリタイアした1台を除く全車が無事ゴール地点に帰り着いた。

表彰式の会場となった木更津市内のドライブインいわさきでは和気あいあいのうちに上位6チームとレディス賞の表彰が行なわれたが、ゼッケン1番をつけた石原／秋本組が優勝カップを手中にした。

特にナビゲーターの秋本は今回の優勝で大きくポイントをのばし、選手権シリーズのナビゲーター部門で一挙3位に浮上することになった。

ポイント・リーダーだった牧野／石原組は今回も3位に入賞し、シリーズ全戦入賞でぶっちぎりのチャンピオンとなった。

(結果はシリーズ成績表を参照)

CRCFシリーズ・チャンピオンが決まる

PRP牧野／石原組がぶっちぎりでタイトル確定

11月18日に行なわれたデイトム・オクトーバー・ラリーを最終戦として、今シーズンの千葉県ラリー選手権シリーズは幕を閉じたが、今年はドライバー、ナビゲーター両部門ともPRPの牧野利和／石原茂組がシリーズ全戦入賞というぶっちぎりの成績で、チャンピオンのタイトルを確定した。

今年のシリーズは前年と若干構成イベントが変わり、レギュラーイベントの中からRBACサンデー・ラリーが落ち、かわりに同クラブ主催のグリーン・ラリーがシリーズ戦として組み込まれたほか、JDTRCが新たに1戦を担当、初めてラリー・オーガナイズを手がけた。この結果、シリーズは全7戦で日程が組まれたが、このうち第5戦のRCGL朝一番ラリーはカレンダー登録が遅れたため、キャンセルとなった。

シーズン前半はチーム林道8の細井元／小平耕司組が第1戦優勝、第2戦4位と連続入賞を遂げ、ポイントをリードしたが、彼らはその後の参加がなく、第3戦以降に牧野／石原組が最終戦までシリーズをリードした。

また、RBACの若手、多田道夫と春山彰の活躍も目立ち、県外の中級イベントでもつねに上位入賞している彼らは安定した実力を発揮。着実に入賞を重ねてドライバー、ナビゲーター両部門で2番手を占めた。

一方、ダート・トライアル・シリーズは車両規定の相違からかいずれのイベントも参加台数が少なく、総体的に盛り上がり欠けるものとなっ

た。しかし、少数ではあるが、千葉県選手権を積極的に追いかけたエントラントもあり、彼らの意欲は結果に如実に反映された。

T-Iクラスでは亀沢史と今井清、T-IIクラスでは小川勇／周三兄弟と三橋政治がポイント争いの中心となったが、Iクラスでは亀沢、IIクラスでは小川(周)が最終的にチャンピオンのタイトルを手中にした。

TS-Iクラスでは小宮進がシリーズ6戦中4戦で優勝というぶっちぎりの好成績をおさめたが、彼は前年入賞者ということで選手権からは除外されるため、ポイント2位の桑原浩次がクラス・ウイナーとなった。

TS-IIクラスは低調な千葉県シリーズの中で比較的メンバーのそろったクラスとなり、木村精二、堂本昇一、越川光夫、堀内幸一／威兄弟が得点争いを展開したが、最も入賞回数が多い木村が最高得点を獲得した。

ラリー／トライアル・シリーズ全戦の成績表とポイント表は次のとおり。



ぶっちぎりの好成績でタイトルを確定した牧野／石原組

'79千葉県ラリー選手権シリーズ全戦成績表

第1戦 風屋明るいN \bar{O} SONラリー(制限付)

日程：2月11日 主催：風屋レーシング・チーム

1位	細井 元・田中 春光・小平 耕司	(ランサー)	42点	林 道 8
2位	柴田 晴康・香取 恒治	(セリカ)	44点	M A S C
3位	森田 隆・加藤 誠・大沢 悦子	(ブルーバード)	53点	サ テ ラ ス
4位	佐久間 正・大網 昭二	(サニー1200)	58点	V a n B a n
5位	牧野 利和・石原 茂	(47トレノ)	64点	P R P
6位	柳川 裕司・石川 武秀	(ランサー)	66点	マ イ ル ド
7位	篠崎 昭雄・川村 芳男	(47トレノ)	68点	R C G L
8位	加藤 秀美・城石 利雄	(ランサー)	71点	R C G L
9位	宍倉 正昭・平山 義夫・伊藤 善雄	(ランサー)	73点	R B A C
10位	多田 道夫・春山 彰	(ランサー)	82点	R B A C
11位	島崎 肇・青木 正和・城田 徳明	(27トレノ)	94点	コ ル サ
12位	大和田光二・米山 桂悟	(37レビン)	98点	A L C
13位	寺内 章喜・相川 隼	(サニー)	105点	N R M
14位	木内 延浩・須藤 明	(サニー)	111点	サ ル フ
15位	武内 重康・高田 博之	(37レビン)	114点	A L C

第2戦 NRM房州ツアー(制限付)

日程：3月21日 主催：習志野ラリースト・メンバーズ

1位	小川 克彦・小川 利彦	(ランサー)	22点	D A M E
2位	牧野 利和・石原 茂	(47トレノ)	28点	P R P
3位	三宮 弘治・八田 令	(ランサ)	31点	T C C S
4位	細井 元・小平 耕司	(ランサー)	33点	林 道 8
5位	柳川 正道・永井 清・内田 勉	(37レビン)	36点	K A Z E
6位	飯島 一嘉・佐久間 正	(バイオレット)	37点	V a n B a n
7位	山崎 和・松井 利規	(27レビン)	43点	S A M E
8位	武内 重康・高田 博之	(37レビン)	45点	A L C
9位	宍倉 正昭・渋谷 孝雄	(ランサー)	51点	R B A C
10位	多田 道夫・春山 彰	(ランサー)	53点	R B A C
11位	内藤 晃・嶋住 貴	(カリーナ)	58点	R B A C
12位	飯田 祥二・石黒裕三郎	(サニー)	70点	A L C
13位	篠崎 昭雄・川村 芳男	(47トレノ)	70点	R C G L
14位	石塚 保・大網 昭二	(ランサー)	75点	V a n B a n
15位	斎藤 勉・沢田 茂	(51レビン)	76点	V a n B a n

第3戦 J-DART入門ラリー(制限付)

日程：4月15日

1位	牧野 利和・石原 茂	(47トレノ)	0点	P R P
2位	武内 重康・高田 博之	(セレステ)	1点	A L C
3位	玉沢 真・永田 敦	(トレノ)	1点	R C G L
4位	多田 道夫・本田 英雄	(セリカ)	1点	R B A C
5位	小林 文雄・高峰 至	(レビン)	1点	R S C C
6位	森田 常義・春山 彰	(レビン)	3点	R B A C
7位	佐藤 泰章・佐久間 栄	(ギャラン)	3点	N R M
8位	斉藤 勉・沢田 茂	(カローラ)	6点	V a n B a n
9位	佐久間 正・大網 友子	(シルビア)	8点	V a n B a n
10位	内藤 晃・嶋住 貴	(カーリーナ)	21点	R B A C
11位	飯山 千年・遠藤 彰	(セリカ)	23点	K A Z E
12位	荒田 一男・山村 重雄	(ランサー)	24点	J U S T
12位	及川 成年・今井 清	(ジェミニ)	24点	N A C
14位	大橋 一男・倉 隆之	(トレノ)	26点	M A S C
15位	宍倉 秀明・松田 行雄	(ブルーバード)	36点	

第4戦 TWS水すましインサマー(制限付)

日程：7月15日 主催：チーム・ウォータースピナー

1位	小川 重和・春山 彰	(カーリーナ)	43点	R B A C
2位	柳川 正道・永井 清・醍醐 正幸	(37レビン)	45点	K A Z E
3位	斉藤 建一・倉 隆之	(セリカ)	46点	M A S C
4位	多田 道夫・本田 英雄	(セリカ)	46点	R B A C
5位	牧野 利和・石原 茂・牧野 義明	(47トレノ)	52点	P R P
6位	篠崎 昭雄・三谷 義和	(47トレノ)	55点	R C G L
7位	森田 常義・森田 純平	(37レビン)	58点	R B A C
8位	斉藤 邦夫・山寺 信也	(サバンナRX7)	60点	K A Z E
9位	高木 毅・田畑 正彦	(51レビン)	75点	サ テ ラ ス
10位	木川 禎博・関谷 秋本	(サニー)	77点	N R M
11位	浅井 政信・児山 信夫	(サバンナ)	83点	V a o B a n
12位	田部井良行・広井 久雄・亀沢 佳忠	(510)	84点	キ ャ プ テ ン
13位	北原 明星・高岩 和郎・岩坂 英二	(510)	86点	K A Z E
14位	小泉 正徳・森 哲也	(510)	88点	V I C I C
15位	橋本 悦夫・徳永賢次郎	(27レビン)	91点	R B A C

第5線 R C G L朝一番ラリー(制限付)

中 止

第6戦 RBACグリーン・ラリー(準国内)

日程：11月3日 主催：レインボー・オート・クラブ

1位	堀 貴博・水野 召三	(27トレノ)	440点	S W A N
2位	高森 正夫・安江 照明	(セリカ)	444点	R C G L
3位	牧野 利和・石原 茂	(47トレノ)	455点	P R P
4位	玉川 正剛・久保田芳則	(サニー)	467点	
5位	竹川 治・伊藤 正英	(27レビン)	472点	
6位	三谷 義和・中台 孝政	(27トレノ)	473点	R C G L
7位	木村 政行・加藤 将	(ギャラン)	480点	S W A N
8位	長谷川敬一・秋本 誠	(スターレット)	493点	K A Z E
9位	大田原甲太・大田原長太	(サニー1200)	500点	キ ャ プ テ ン
10位	根本 純・高杉 哲也	(27レビン)	512点	F Q R C
11位	山田 健次・望月 清輝	(47トレノ)	519点	N A C
12位	鈴木 圭一・長堀 卓生	(ランサー)	521点	
13点	佐藤 泰章・佐久間 栄	(ギャラン)	526点	N R M
14位	鷗島 国治・松本 裕行	(シビック)	534点	
15位	海宝 守・遠藤 彰	(71レビン)	534点	K A Z E

第7戦 DAMEオクトーバー・ラリー

日程：11月18日 主催：ラリー愛好グループ・デイム

1位	石原 茂夫・秋本 誠	(55レビン)	60点	N R M
2位	浅井 政信・児山 信夫	(サブナGT)	65点	
3位	牧野 利和・石原 茂	(47トレノ)	69点	P R P
4位	宮野 誠・伊藤 善雄	(ギャランGTO)	84点	R B A C
5位	宍倉 正昭・平山 義夫	(ランサー)	85点	R B A C
6位	山田 健次・望月 清輝	(47トレノ)	92点	
7位	高野 義雄・嶋崎 一夫	(サニー)	96点	
8位	三橋 武一・荒田 一男	(サニー)	102点	J U S T
9位	金究 豊通・小久保昌己	(27トレノ)	108点	
10点	篠崎 昭雄・香取 恒治	(47トレノ)	110点	R C G L
11点	沼田 博・丸山 高康	(ジャレード)	112点	
12位	飯島 一嘉・千葉 道彦	(バイオレット)	127点	
13位	貝淵 正明・貝淵 悦郎	(サニー)	133点	V a n B a n
14位	吉野 智英・大久保国雄	(カーリーナ)	135点	
15位	岩淵賢一郎・佐藤 修	(シビック)	136点	

表 第79回千葉県ラリー選手権シリーズ得点表

部門	順位	氏名	KAZE	NRM	J-DART	TWS	RBAL	DAME	計
ド ラ イ バ ー 部 門	1位	牧野利和	60	80	100	60	70	70	320
	2位	多田道夫	35	35	65	65			200
	3位	細井元	100	65					165
	4位	篠崎昭雄	50	20		55		35	160
	5位	柳川正道		60		80			140
	6位	宍倉正昭	40	40				60	140
	7位	武内重康	10	45	80				135
	8位	佐久間正	65		40				105
	9位	森田常義				55	50		105

ナ ビ ゲ ー タ ー 部 門	1位	石原茂	60	81	100	60	70	70	320
	2位	春山彰	35	35	55	100			225
	3位	秋本誠				35	45	100	180
	4位	小平耕司	100	65					165
	5位	永井清		60		80			140
	6位	高田博之	10	45	80				135
	7位	本田英雄			65	65			130
	8位	香取恒治	80					35	115
	9位	伊藤善雄	40					65	105

千葉県ダート・トライアル選手権シリーズ全戦成績表

第1戦 東金サーキット・チャンピオン・シリーズⅡ

日程：3月4日		主催：JDTRC		場所：東金サーキット	
<T-Iクラス>			<TS-Iクラス>		
1位	五十幡昇一(シビック)		1位	小宮 進(チェリー)	KAZE
2位	亀沢 壮史(シビック)		2位	下田 正明(チェリー)	TWS
3位	滝島 清一(チェリー)		3位	白井 喜治(チェリー)	TWS
4位	五木 喜一(サニー)		4位	高橋 清悦(チェリー)	JDTRC
5位			5位	中村 功(チェリー)	
6位			6位	佐々木 久(シビック)	
<T-IIクラス>			<TS-IIクラス>		
1位	小川 周三(ブルーノード)	TWS	1位	堂本 昇一(チェリー-FII)	ヨコタ
2位	三橋 政治(トレノ)		2位	柴田 昭(セリカ)	
3位	小川 勇(37レビン)	TWS	3位	平塚三喜男(レビン)	RBAC
4位	猪狩 中(サバンナ)		4位	糸井 賢一(ギャラン)	
5位	中川 敏昭(レオーネ)		5位	堀 貴博(ギャラン)	SWAN
6位	菅野 誠(ランサー)		6位	木村 精二(ブルーノード)	JDTRC

第2戦 レオン&キャプテン・ゴールド・トライアル

日程：4月8日		主催：KCGL		CAPTAIN 場所：スポーツランド川上			
<T-Iクラス>			<TS-Iクラス>				
1位	醍醐 正純(サニー)	1分22秒50	大和RT	1位	小宮 進(チェリー)	1分19秒03	KAZE
2位	中山 晴夫(シビック)	1分24秒72		2位	坂本 克喜(シビック)	1分19秒12	ポチ
3位	池田 利孝(シビック)	1分25秒90		3位	河村 幸夫(チェリー)	1分21秒45	
4位	千葉 道彦(サニー)	1分26秒17		4位	白井 喜治(チェリー)	1分28秒99	TWS
5位	土屋 浩之(スズレ1300G)	1分28秒80		5位	桑原 浩次(サニー)	1分29秒17	DAME
6位	白井 輝夫(サニー)	1分31秒72		6位			
<T-IIクラス>			<TS-IIクラス>				
1位	小川 周三(37レビン)	1分22秒10	TWS	1位	高森 正夫(セリカ)	1分16秒26	RCGL
2位	永島 正道(ギャラン)	1分25秒01		2位	堀内 幸一(シールマン)	1分17秒17	大和RT
3位	三橋 政治(トレノ)	1分25秒56	-	3位	平塚三喜男(27レビン)	1分18秒54	RBAC
4位	小川 勇(37レビン)	1分26秒25	TWS	4位	堀内 威(シールマン)	1分19秒11	DCCS
5位	柳川 宣彦(トレノ)	1分27秒48		5位	越川 光男(サニー)	1分19秒55	
6位	中山 雅一(レビン)	1分27秒59		6位	中筋 豊(27レビン)	1分21秒50	KAZE

第3戦 NRMダート・スペシャルⅥ1

日程：5月27日 主催：NRM 場所：シリーズ

<T-Iクラス>

- 1位 今井 清(チェリー) 2分27秒53 N A C
 2位 正木 律夫(サニー) 2分28秒56 N R M
 3位
 4位
 5位
 6位

<TS-Iクラス>

- 1位 小宮 進(チェリー) 2分05秒58 KAZE
 2位 秋元 利久(サニー) 2分14秒01 RTNS
 3位 桑原 浩治(サニー) 2分16秒39 DAME
 4位 白井 勝夫(サニー) 2分16秒56 RTNS
 5位 白井 喜治(チェリー) 2分19秒10 T W S
 6位

<T-IIクラス>

- 1 小川 勇(37レビン) 2分09秒80 T W S
 2 三橋 政治(61トレノ) 2分15秒65 ハヤブサ
 3 小川 周三(37レビン) 2分09秒80 T W S
 4 森田 薫(ランサー) 2分21秒28 JDTRC
 5 永島 正道(ギャラン) 2分22秒87
 6 金坂 光博(フレイード) 2分32秒54 JDTRC

<TS-IIクラス>

- 1位 堀内 幸一(カローラ) 2分05秒00 大和RT
 2位 堂本 昇一(チェリー-FII) 2分08秒10 ヨコタ
 3位 堀内 威(セリカ) 2分09秒00 DCCS
 4位 木村 精二(フレイード) 2分11秒86 JDTRC
 5位 鶴岡 光行(27レビン) 2分12秒40 ヨコタ
 6位 加藤 孝和(ランサー) 2分14秒56 DAME

第4戦 第2回RBACダート・トライアル

日程：7月29日 主催：RBAC 場所：スポーツランド川上

<T-Iクラス>

- 1位 岩沢 久光(スシ1300G) 1分46秒4 KAZE
 2位 渡辺 重雄(ジャレード) 1分47秒4 T W S
 3位 亀沢 壮史(シビック) 1分49秒4
 4位 黒木 正次(シビック) 1分51秒9
 5位 渡辺 勝(サニー) 1分58秒9
 6位

<TS-Iクラス>

- 1位 桑原 浩次(サニー) 1分49秒1 DAME
 2位 二見 和夫(サニー) 1分45秒6
 3位
 4位
 5位
 6位

<T-IIクラス>

- 1位 中村 孝志(レオーネ) 1分45秒1
 2位 永島 正道(ギャラン) 1分47秒0
 3位 細島 敏夫(レオーネ) 1分47秒2
 4位 浅見 茂夫(フレイード) 1分51秒3
 5位 伊藤 貴文(フレイード) 1分51秒6
 6位 小川 勇(37レビン) 1分52秒0 T W S

<TS-IIクラス>

- 1位 秋葉 哲夫(フレイード) 1分48秒2
 2位 大田原甲太(カリーナ) 1分48秒4 CAPTAIN
 3位 越川 光男(サニー) 1分49秒0
 4位 細井 元(ランサー) 1分53秒0 林道8
 5位 三須 善明(ギャラン) 1分53秒6
 6位 堀内 威(セリカ) 1分54秒9 DCCS

第5戦 NRMダート・スペシャルⅡ

日程：8月5日 主催：NRM 場所：オートランド千葉

<T-Iクラス>

- 1位 千葉 道彦(サニー) 1分19秒19
- 2位 鎗田 賢(サニー) 1分19秒67
- 3位 渡辺 勝(サニー) 1分20秒52
- 4位 渡辺 重雄(シールド) 1分22秒03 TWS
- 5位 亀沢 壮史(シビック) 1分24秒01
- 6位 加藤幸一郎 1分28秒86

<TS-Iクラス>

- 1位 河村 幸夫(チェリー) 1分14秒44
- 2位 桑原 浩次(サニー) 1分14秒89 DAME
- 3位 小宮 進(チェリー) 1分15秒12 KAZE
- 4位 加藤 孝和 1分15秒48
- 5位
- 6位

<T-IIクラス>

- 1位 小川 周三(37レビン) 1分17秒34 TWS
- 2位 小野寺幸夫 1分18秒02
- 3位 小川 勇(37レビン) 1分18秒38 TWS
- 4位 細島 敏夫(レオーネ) 1分18秒41
- 5位 浅見 茂夫(ブルーノード) 1分18秒66
- 6位 牧野 利和(47トレノ) 1分20秒07 PRP

<TS-IIクラス>

- 1位 堂本 昇一(チェリー-FII) 1分12秒13 ヨコタ
- 2位 堀内 幸一(カロラ) 1分13秒32 大和RT
- 3位 越川 光夫(サニー) 1分14秒46 大和RT
- 4位 木村 精二(ブルーノード) 1分14秒80 JDTRC
- 5位 郡司慶一郎 1分17秒62
- 6位 古宮 昇(レビン) 1分17秒77 TWS

第6戦 第3回グループ・ライム・ビッグ・トライアル

日程：10月7日 主催：DAME 場所：

<T-Iクラス>

- 1位 望月 清輝(チェリー) 2分17秒4
- 2位 今井 清(チェリー) 2分21秒8 NAC
- 3位 今井 忠幸(スターレット) 2分23秒2
- 4位
- 5位
- 6位

<TS-Iクラス>

- 1位 小宮 進(チェリー) 1分56秒9 KAZE
- 2位
- 3位
- 4位
- 5位
- 6位

<T-IIクラス>

- 1位 佐藤 陽一(ギャラン) 2分45秒8
- 2位 ウノサワフミオ(ギャラン) 2分50秒0
- 3位
- 4位
- 5位
- 6位

<TS-IIクラス>

- 1位 木村 精二(ブルーノード) 1分49秒4 JDTRC
- 2位 越川 光夫(サニー) 2分03秒4 大和RT
- 3位 渡辺 健(ブルーノード) 2分05秒0
- 4位 湯本 敬(ブルーノード) 2分11秒4 NDC
- 5位 渡辺 成夫(トレノ) 2分16秒9 NRM
- 6位

’79千葉県ダート・トライアル・シリーズ得点表

部門	順位	氏名	第1戦	第2戦	第3戦	第4戦	第5戦	第6戦	計
T I I ク ラ ス	1位	亀沢 荘史	80			70	50		200
	2位	今井 清			100			80	180
	3位	千葉 道彦		60			100		160
	4位	渡辺 重雄				80	60		140
	5位	五十幡 昇一	100	35					135
	6位	渡辺 勝				50	70		120
T I I ク ラ ス	1位	小川 周三	100	100	70		100		370
	2位	小川 勇	70	60	100	40	70		340
	3位	三橋 政治	80	70	80	30	30		290
	4位	永島 正道		80	50	80	35		245
	5位	浅見 茂夫		30		60	50		140
	6位	細島 敏夫				70	60		130
T S I I ク ラ ス	1位	小宮 進	100	100	100		70	100	470
	2位	桑原 浩次		50	70	100	80		300
	3位	白井 喜治	70	60	50				180
	4位	河村 幸夫		70			100		170
T S I I ク ラ ス	1位	木村 精二	40	30	60		60	100	290
	2位	堂本 昇一	100		80		100		280
	3位	越川 光夫		50		70	70	80	270
	4位	堀内 幸一		80	100		80		260
	5位	堀内 威	35	60	70	40			205
	6位	平塚 三喜男	70	70					140

今年最後のCRCF 千総会開催来年のシリーズ日程決まる



〔第6回CRCF総会風景〕

11月25日(日)、千葉市蘇我町のリバーレーン・ボウリング場会議室で今年最後のCRCF(千葉県ラリークラブ連盟)総会が開かれた。当日はあいにくの雨模様の天候にもかかわらず、CRCF加盟15クラブのうち、11クラブの代表19名が集まり、CRCFラリーノダートラ選手権シリーズの表彰式開催の件をはじめ、来シーズンの選手権スケジュール、県内の練習ラリーなどの議案について、3時間にわたり熱心に討議を重ねた。

CRCFシリーズ表彰式については、JUSTが幹事クラブとなり、現在準備が進められているが、日程は12月16日午後1時～5時、場所は千葉グランド・ホテルに決定、昨年は参加者が少なく、また時間も2時間と短かったため、いまひとつ盛り上がり欠けたが、今年は時間を4時間に延長、文化放送「出前寄席」の集録やラリー写真展、チャリティ・オークション、クラブ対抗余興合戦など盛りだくさんの企画で、盛大なものにしたと関係者は張り切っている。

表彰式は会費2,000円で飲み放題、食べ放題。シリーズ入賞者と女性は無料招待となっている。

3シーズンめを終わり、初・中級向けの手軽に楽しめるデー・ラリー・シリーズとしてすっかり定着した千葉県ラリー選手権は、来年ももちろん続行されるが、その日程も今回の総会でほぼ決定した。

来年の選手権シリーズにはRBACサンデー・ラリーが復活するとともに、JUSTが

新たに1戦をオーガナイズすることになったため、シリーズは8戦で構成されることになり、一層充実したものとなった。

このほか、シリーズ戦ではないが、日程のあいている3月にSWANが県内でデー・ラリーを開催する予定もあり、来年は千葉県内だけでも月1戦のペースでラリーが楽しめることになるようだ。

CRCFではシリーズ戦の共通規則書を作成し、安全で手軽に楽しめるラリーをというポリシーに沿って、基本的な事項についてはスタイルの統一を図っていきたいとしている。

ダートラのシリーズ戦については4クラブ(KAZE、NRM、DAME、J-DART)が開催の意向を示めているが、いまひとつ盛り上がり欠けるため、シリーズ存在の意義を問い直し、来年は県内のシリーズをとりやめ、すべてのイベントを対象としたポイント制で、県内のダートラ・チャンピオンを決定する方向で検討することになった。

千葉県ラリー選手権シリーズの開催日程は次のとおり。

1980年千葉県ラリー選手権日程表

№	日 程	名 称	主 催 者
第1戦	2月10日	明るいNO SONラリー	KAZE
第2戦	4月6日	房州ツアー	NRM
第3戦	4月20日	サンデー・ラリー	RBAC
第4戦	5月3日	朝一番ラリー	RCGL
第5戦	6月1日	ラリー・スペシャル '80	DAME
第6戦	7月27日	水すましイン・サマー	TWS
第7戦	9月14日	入門ラリー	J-DART
第8戦	12月7日	名称未定	JUST

なお、来年のCRCF総会幹事クラブは1月がCAPTAIN、3月がTRIP、5月がNAC、7月がFOCS、9月がJ-DART、11月がTWSとなっている。

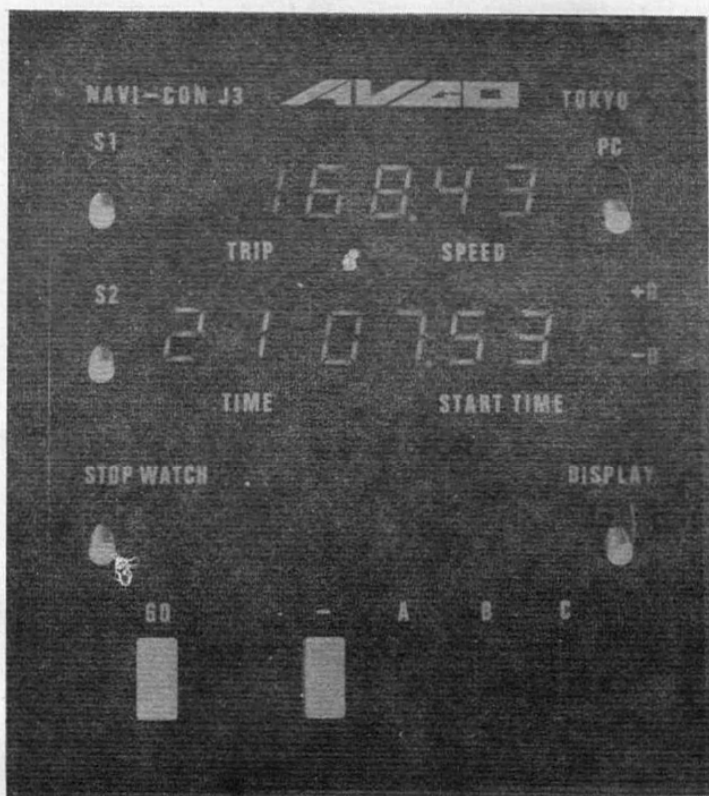
ラリー用マイクロコンピューター「ナビコン」

NAVI・COM J3

簡単な操作、手頃な価格 しかも高性能…… これが
ナビコン J3 に与えられた開発テーマでした。

スイッチ類を除いて、100%エレクトロニクス化
されています。従って機械的故障は皆無で、ト
ラブルリスクは極減しています。

(1年間保証)



縦 142^{mm}
横 128^{mm}
厚さ 46^{mm}
重量 750^g

【電源トラブルに備え、時計機構及び
内蔵データを保持する単3-1.5V用
電池ホルダーと配線コードが附属し
ます。】

価 格 **49,800円**

【ナビコンの概要】

- ナビコンは精密な水晶発振器を内蔵して
いるマイクロコンピューターです。
スタート時刻と指示速度を覚え込ませれ
ば、複雑な計算を瞬間的に行ない、正解
距離を上部窓に1秒ごとに表示してい
きます。
- 毎秒ごとに増加する上部表示と、自車の
トリップ〔KS、ハルダなど〕を比較す
れば遅速は一目でわかります。シンク
ロナイズするようにスピードコントロール
すれば完全なオンタイム走行となります。
- 下部表示は、標準時刻ですが、 $\frac{1}{10}$ 秒ス
トップウォッチとしても自由に使用でき
ます。
- ディスプレイスイッチにより、「正解距離」
「標準時刻」の表示は、「指示速度」「ス
タート時刻」の表示に切り替わります。
このセッティングは、いつでも自由に操
作修正することが可能です。
- パコン、チェック、レスコン、秒の切
り捨て、切りあげ、プラス α 補正……
いずれも簡単に入力できます。しかも、
訂正、取消も自由にできます。
- 装着は電源(DC12V)の接続のみです。

KAZEYA SPORTS PARTS

☎0436-75-0009

ラリーハウス 風屋

〒290-01 千葉県市原市久々津372-1

営業時間 11:00~11:00

定休日 第2・第3土・日曜

熱烈歓迎!!スポーツを愛する人

NAVY・COM EL

風のたより / 1号

発行日 昭和54年12月16日(隔月発行)
編集 柳川正道 長谷川敬一
発行所 ラリーハウス 風屋
〒290-01 市原市久々津372-1
0436-75-0009

☆イベント案内参戦記など投稿歓迎